

かるいざわ
おとなになったときの**軽井沢**って
どうなるんだろう



いけん
みんなの意見
ぼしゅうちゅう
募集中

かるいざわまち
軽井沢町では、まちづくりを進めるためにとても大切な計画となる「第6次長期振興計画」を作っています。

これからみなさんが大人へと成長していく間の10年間（令和5年度～令和14年度）の計画となっています。このパンフレットを読んで、みなさんが気づいたことや考えたことを教えてください。

大人の皆様へ

このパンフレットは、「第6次軽井沢町長期振興計画」の策定にあたり、子どもたちの意見を聞くために作ったものです。ぜひ、お子様と一緒に読みいただき、ご意見をお寄せください。また、大人向けの資料は、軽井沢町ホームページなどでご覧いただけます

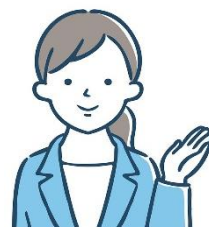


長期振興計画とはどんな計画？



長期振興計画ってなに？

みなさんが大人へと成長していく令和14年度(2032)までの計画です。将来の理想の町の姿を描き、その実現を図るための5つの政策と20の分野別の取り組みを示しています。



この計画は、どうやって作ったの？

この計画をつくるために、住民と別荘所有者、東京在住の方々にアンケートをしたり、ワークショップで皆さんの意見をいただき、それも参考に計画をつくっています。



みんなの声でできた計画なんだね！でも、10年後のことなんて、よくわからないんだけど、どうやって考えるの？

軽井沢町に関わるすべての人にとって重要な計画なので、自分が住んでいる町が、どうしたらもっとよい町になるかを考えてみましょう。



私たちが大人になった時に、もっとよいまちになるための計画ということですね。自分たちが暮らすまちのことだから、私たちも一緒に考える必要があるんですね。

そうなんです。次のページから一部を紹介するので、読んでみてください。わからないときは、おとなの人にも聞いてみてね。



10年後にめざすまちになるための道のりをみてみましょう！

まちづくり **すごろく**

スタート

安心して子どもを
生み育てられるま
ちにする

たくさんの自然
は守り、残す

災害に強い安全
なまちにする

きれいなまちなみ
が自慢のまちに
する

気候変動の
対策をとる

道路の混雑
対策をする

観光客は、少し
だけ増やす

新しい産業を
つくる

住み慣れた地域
で安心して暮ら
せるようにする

みんなが健康で
過ごせるまちに
する

農業も
大切にする

子どもたちに
しっかりと教育を
する

みんながまちづ
くりに参加できる
ようにする

役場は、むだ遣
いをしないように
する

おとなになったと
きにも住みたい
まちにする

ゴール

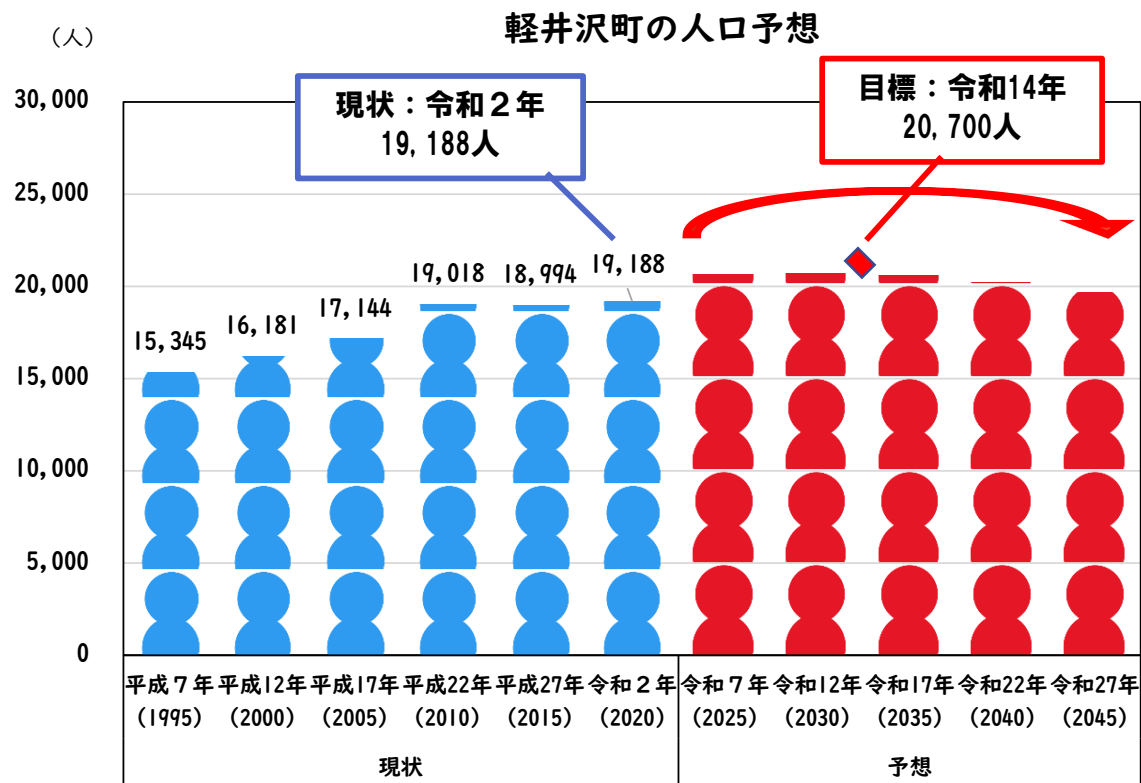
めざすまちの姿を達成！！

～豊かな自然と共生する～

人と自然と文化で築く 環境先進都市 軽井沢

ねんご じんこう 10年後のまちの人口はどうか？

人口は今後の10年間は少し増えるけれど、子どもや若い人は減って、まちがさびれていく心配があります。



えすでいじーず してん ふ ひつよう
これからは、SDGsの視点を踏まえたまちづくりが必要とされて
いるよ。そのため町独自の軽井沢目標（S軽Gs）をつくったよ！
まちどくじ かるいざわもくひょう えすかるじーず

えすかるじーず

S軽Gsについて



SDGs (えすでいじーず) とは

SDGs は「持続可能な開発目標」という意味の英語 Sustainable Development Goals の略のこと。2015年に国連総会で決められた、2030年までに目指すべき17の「みんなが安心して、地球で暮らし続けられるため」の17の目標のことをいいます。

SDGsの17のゴールと地方創生総合戦略(まちをもっと魅力的にして人口を維持しようという計画)の4つのゴールにそれぞれに対応した21の目標のことをいいます。

これから10年後にめざすまちになるための、
さらなる取り組み（基本政策）を紹介するね！

めざすまちになるための取り組み

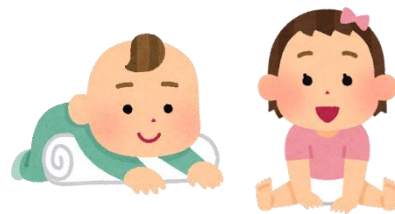
基本政策 1 未来に希望をもてるまちづくり

町の人口は増えているのに、子どもや若い人の割合はどんどん減っています。そのために、若い人が町で働くことができる環境や結婚して子どもを安心して生み育てることができるよう支援します。

また、町の魅力を発信し、軽井沢を応援したい人や関わりを持ちたいと思う人を増やします。

【具体的には】

- ◇子どもが生まれた方は、町からお祝い金がもらえます。
- ◇子育てを支援するサービスをたくさんします。
- ◇SNSで国内外に町の魅力を発信します。



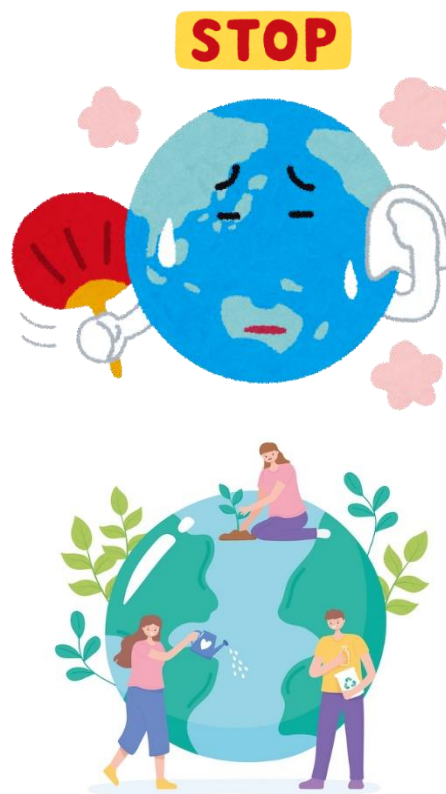
基本政策 2 環境に配慮したまちづくり

二酸化炭素が増えていくと、地球の気温がどんどん上がったり、台風や大雨が起きやすくなってくることを地球温暖化といいます。

豊かな自然を守り育て、みんなで地球温暖化を防ぐために取り組みます。

【具体的には】

- ◇きちんと管理をして、森林を守ります。
- ◇クリーンエネルギー自動車にみんなにひろまるようにします。
- ◇公園や役場の施設はLED照明にします。
- ◇ごみのリサイクルや再資源化を進めます。



基本政策 3 快適でにぎわいのあるまちづくり

まちなみが美しく、住まいの周辺の環境が良い快適なまちをめざします。

大人になったときに、軽井沢にやりがいのある仕事があるように、産業の振興を図り、にぎわいのある元気なまちをつくります。

【具体的には】

- ◇軽井沢ならではのまちなみを保存していきます。
- ◇イベントやバザール等を開催します。
- ◇環境にやさしい安全・安心な野菜づくりを応援します。



基本政策 4 誰ひとり取り残さないまちづくり

すべての人が、健康で生きがいを持ち、住み慣れた場所でいつまでも住み続けられるまちをめざします。

子どもたちの確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む教育を推進します。

【具体的には】

- ◇安心して病院にかかるようにします。
- ◇すべての人々が、自分らしく暮らせるようにします。
- ◇ICT 教育、国際理解教育、実践英語教育などを行います。



基本政策 5 協働とパートナーシップのまちづくり

大人も子どもも会社の人、地域の人、みんなで、より良いまちになるよう支え合い、力をあわせて協力します。

役場のサービスは使いやすくし、お金の使い方をしっかり考えて先を見据えたまちづくりをします。

【具体的には】

- ◇気軽にボランティア活動・NPO活動ができるよう支援します。
- ◇性別による差別がなくなるようにします。
- ◇みなさんから集めた税金は、有効につかいます。

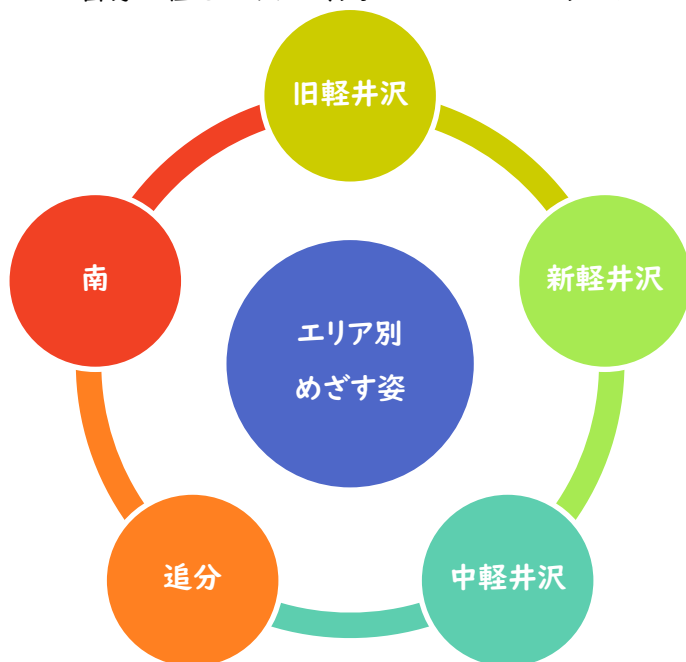


エリアごとの住民のみなさんに、
取り組んでいきたいことを考えてもらったよ！

5つのエリアがめざす姿



自分の住むエリアは、大人の人はどうのようにしたいと考えているかを、みてみましょう。



旧軽井沢 歴史と伝統のデザインが共生する『美しい村』の原風景の継承

新軽井沢 観光客や住民が行き交う魅力あふれるステーションフロント※

※ステーションフロントとは、駅前広場のこと

中軽井沢 だれもが住み続けられる暮らしの中心地

追分 住んで楽しい、訪れて楽しい歴史と文学の里づくり

南 「暮らす・食べる・楽しむ」食文化とスポーツが結ぶ健幸の拠点づくり

ちほうそうせいそうごうせんりやく けいかく いっしょ
地方創生総合戦略という計画も一緒につくっているよ！

ちほうそうせいそうごうせんりやく 地方創生総合戦略とは



少子高齢化などの人口の問題に絞り込んで、すみやすいまちになるように取り組み、みんなが大人になったときにも、まちが栄えているための計画です。



ちゅうこうせい ねんご すがた
中高生のみなさんに、10年後になってほしいまちの姿について、
かんが しょうかい
考えてもらったことを紹介するね！

ねんご ほ すがた 10年後の軽井沢町になって欲しい姿

●地元の人も住みやすい環境をつくる

- ・自分たちもアクションし、自主的に関わっていく
- ・あいさつをしてくれる人を増やす
- ・人口を無理に増やさない
- ・地元行事を残していく
- ・あたたかい人に囲まれた環境づくり
- ・誰もが安心して利用出来る病院があってほしい
- ・観光客・町の人達と皆で助け合い、話し合える場所がある

●自然が続いてほしい

- ・軽井沢の良い所や観光名所も続いてほしい
- ・森は自然を多く、楽しめるような場所に、町は今までどおりの町に
- ・今ある自然を残しつつ、欲しいものをつかっていく
- ・10年後も川や沢が同じように見れる
- ・温暖化対策などを他の市などと協力

●教育環境の改善

- ・子どもが町に残りやすいように、大学高校中学などを増やす
- ・学校間での交流（イベント、スポーツなど）

●観光について

- ・観光客のための軽井沢ではなく、地元の人にも関心をもってもらえるような軽井沢であってほしい
- ・観光の魅力を増やす（ローカルな商品の開発／外国人へのアプローチ、スポーツ
- ・偏りすぎないように、観光業に依存しないように
- ・言葉や文字で軽井沢のアピールポイントを紹介して興味をもってもらう

●上京した若者が軽井沢に戻ってこられるようなまちになる

- ・ビジネスしやすい町づくり
- ・中高生の時からビジネスについて学べるように
- ・中高生が本当にやりたいことを軽井沢の富裕層の方に支援してもらい実現する

●交通の便を増やしたり、交通の手段を増やしたりして、交通面でもっと充実して欲しい

- ・自転車の活性化
- ・交通運賃の値下げ・地元割の適用⇒
- ・渋滞が少ない



たくさんの意見ありがとうございました



※11月13日のワークショップに参加いただいた、中高生（軽井沢中学校、軽井沢高校、軽井沢風越学園、ユナイテッド・ワールド・カレッジ ISAK ジャパン）のみなさん

※このページだけ提出してください

い け ん よ う し
意見用紙



このパンフレットを読んで、気づいたことや、考えたことを、自由に書いてください。

お名前

学校名

学年・クラス

年

組

ご意見

Handwriting practice lines consisting of 12 horizontal rows of small, colorful dots (green, yellow, and blue) for writing.